

# 事業概要シート

施策	2003	ごみの減量化と適正処理の推進	<<>の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	ごみ処理施設整備事業	現状維持	予算額 227,000 千円 << 26,110 >>千円
事業期間	令和2年度 ~ 令和12年度		財源内訳 国庫支出金 0 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 227,000 千円
根拠法令要綱等	循環型社会形成推進交付金交付要綱		

**【事業の目的・概要・対象】**

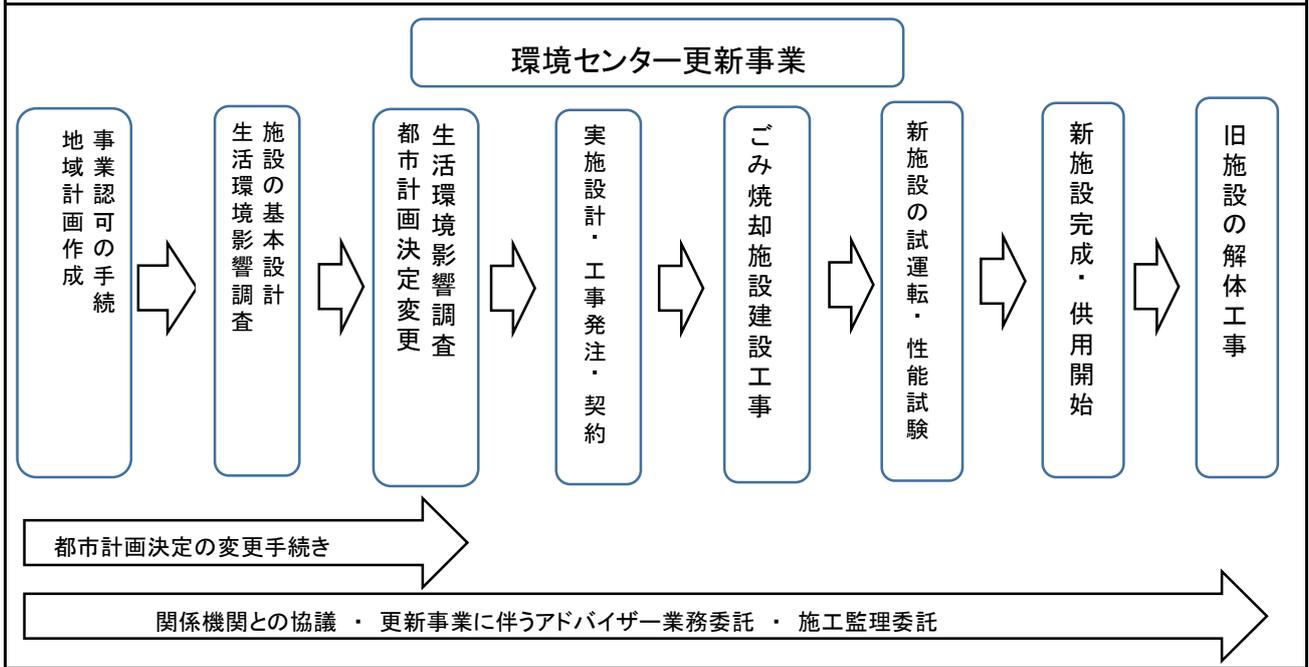
**【目的】** 環境センター（ごみ焼却施設）の各設備が老朽化し、令和9年度に耐用年数である30年を迎える。今後も適正かつ安定的な廃棄物処理を行うため、新たな施設整備を行う。

**【概要】** 施設整備は、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を総合的に推進でき、市町村の自主性と創意工夫を活かし、循環型社会の形成、及びエネルギー回収を含め、環境面、財政面を考慮し、最適な事業計画を推進する。

全体事業費 21,287,482千円

（ 交付金 6,170,489千円 ・ 起債 12,772,200千円 ・ 一般財源 2,344,793千円 ）

**【対象】** 環境センター廃棄物処理施設



**【背景】**

一般廃棄物の処理責任は、自治体にあるため、施設の更新（建替）計画を策定し、適正かつ安定的に処理する必要がある。

担当課	市民環境部 環境センター	課長	所長 荒木 良也
担当者	田中 秀紀	問合せ先	0957-54-3100

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)	
①	施設更新に関する事業進捗率 (事業費ベース)	計画値	%	0.8	0.99	0.99	10.89	39.6
②		計画値	R6以前 184,162円+R7 26,110 ÷21,287,482千円=0.98777%					

### 【成果指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①		計画値					
②		計画値					

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	58,555	51,201	26,110	227,000	2,107,720	6,112,390	8,582,976
国庫支出金	18,666	12,692	8,703	0	351,286	1,651,046	2,042,393
県支出金							0
地方債					1,422,600	3,762,200	5,184,800
その他							0
一般財源	39,889	38,509	17,407		333,834	699,144	1,128,783
人件費	15,859	15,957	16,233	16,233	18,083	18,083	100,446
職員(人)	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	12.30
時間外勤務(h)	13	62	200	200	200	200	875
会計年度任用職員(人)	0.5	0.5	0.5	0.5	1.5	1.5	5.00
フルコスト	74,414	67,158	42,343	243,233	2,125,803	6,130,473	8,683,422

妥当性 (市の関与)	一般廃棄物の処理責任に関する計画、施設更新事業であるため、市が事業主体である。
有効性 (施策貢献度)	一般廃棄物を適正に処理することで、公衆衛生面の向上を図り、市民が安心、安全に生活していくための計画、施設整備である。
効率性 (コスト)	一般廃棄物を適切かつ安定的に処理するための施設であり、必要な費用である。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり